

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	殿馬場中学校	階数	地上4F
建設地	堺市堺区櫛屋町東3丁26番1	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	530 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,700 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2013年2月12日
敷地面積	16,519 m <sup>2</sup>	作成者	阪急設計コンサルタント
建築面積	672 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,571 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

視環境音環境	2.4
温熱環境	2.0
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.4
耐用性	3.4
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物の	3.0
自然エネ	3.5
設備システ	3.2
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.3
地域環境	2.4
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	太陽光発電システムの設置を行うなどして低炭素化を図ると共に、極力緑地を確保することにより快適な環境づくりに配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	界壁等には十分な遮音性を考慮すると共に、室内環境を明るく保つよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 快適な室外環境を形成するため、極力緑地面積の確保に努め、外観の意匠に配慮するなど、まちなみへの調和を図った。
LR1 エネルギー	公共建築物の低炭素化を図るため、太陽光発電システムを設置するなどして、自然エネルギーの利用に努めた。	LR3 敷地外環境 周辺地域への日影の影響に配慮した配置計画としている。
Q2 サービス性能	構造耐力上割増を行うなどして安全性を確保すると共に、十分な天井高さを確保し、EV・スロープを設置するなどして学習環境の向上を図った。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具を多く採用し水資源消費の低減を図る。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	殿馬場中学校	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区櫛屋町東3丁26番1	1	B+
	主用途/延床面積	学校 / 2,570.88 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	4	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.3	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.2	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		4.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	